



社会を生き抜く魔法の杖

札幌市立米里小学校 校長 小松 孝昭

先日の学校閉鎖(臨時休校)の際には、大変御心配をおかけしました。皆様からの御理解と御協力により、今日の終業式を迎えることができました。感謝申し上げます。また、先日実施しました個人懇談や学校評価につきましても、皆様の温かい御支援のお気持ちと、励まし、御助言等を多数いただきました。今年度より、いじめ防止と即時対応の視点で、いじめアンケート後のこの時期にも個人懇談を実施いたしましたが、皆様とお話をできしたことやお寄せいただいた内容に、大きな価値を感じております。御多用のところ、誠にありがとうございました。

さて、いつも本紙面では、本校児童の具体的な姿や取組の様子から、私が感じたことを中心にお伝えしてきています。本日は、何故私がいつも「大人がいない時こそ自分で考え、行動しよう」と子どもたちに伝えているのか、これから子どもが生き抜く令和の日本、いろいろ便利な世の中ではあるけれど…という切り口で、私の経験談とともに改めてお話をします。経験談といっても些細な、誰にでもあるネットでの経験です。

普段ネット・SNSなどを見ていると、やがて「これっておかしくないか」「おもしろい!」「え? なになに」など、見付けたものに興味をもつ自分がいます。その後、より関心が深まって検索などの「行動」を伴うようになります。好みのコンテンツを追うことしばしばです。特に、好きなコンテンツを見ている時は、どれも目の前に実体はないのに、情報や様子が自分にどんどん入ってきます。手持無沙汰で、何の気なしにニュースやタイムラインを見たら最後、有名人の意見や、リアルタイムで次々と流れてくる「同じような」意見に触れすぎて想定以上に情報に溺れ、自分自身の考えがぼやけたり揺らいだりすることすらありました。今、こうして書いてみると、改めて「常に情報を選択し、落ち着いて状況を見つめながら、自分の考えと行動を保つ」必要のある、なかなか難しい時代を生きているなど、思います。

一方子どもに目を移すと、当然ながら私がしたような経験の影響をより強く受けます。例えばゲームの通信やLINE等の中で、配慮の少ないそっけない言葉、もうと眠れなくなる気になる言葉、時に相手に絶対使ってはいけない言葉すらも、あっさりと打ち込み、送信する場合があること。昔も手紙や交換日記等で配慮に欠けるものはありませんが、今はツールの便利さや手軽さによって、いとも簡単に「実生活では相手に行わない」の壁が、打ち破られることがあるのです。文字による負の効果として、「言葉で交わすより、重い。」があげられますが、これは相手の感じ方という側面でいじめにつながる場面と類似するため、気を付ける必要があります。また、大人の世界も同様で、多くの人が健全にネットを利用している中、匿名性を盾にした嫌がらせやいじめ行為も見られています。様々な有識者による問題提起もなされていますが、解決・解消している実感を、これまでのところ私は一度も得たことがありません。ネット社会では、以前なら知り合うこともなかった人と交流できる利点がある半面で、個人の人間性を目にする機会も飛躍的に増え、動画等多くの情報やSNSの文字から伝わる多様な価値観に触れることがあって、良くも悪くも影響も受けやすくなっています。そして、これから子どもたちが成長していく過程でも、社会全体としては、同傾向が続くと思っています。

今も私が全校朝会で伝え続ける「大人がいない時こそ自分で考え、行動しよう」ですが、実は、これが上に書いたネットの例(実はネット登場以前から存在)のような、社会の一側面を捉えることにつながると考えています。

「大人がいない時こそ自分で考え、行動しよう」で、とても重要なのは、その子なりに意識して生活する癖をつけるところです。「大人がいない時こそ自分で考え、行動しよう」を、子どもが自ら意識し始めると、周りの意見に流れ過ぎず、自分の軸をもとに判断することにつながります。主に公園での遊びや登下校中、児童会館で過ごす時やおうちでの留守番、校内でも教員がいない瞬間など、大人から選択肢を与えられない時に、この「自己決定力」

(裏面に続きます→)

があれば、日々深まる自信や、やがて確立する自我とともに、正しい選択を行うことができるようになります。中でも自信はとても重要で、身に付くと、自分の行動とその結果をきちんと受け止める余裕・余力が生まれます。その余裕や余力は、「自分が決めたこと」「次はどうすればもっと良くなるかな」となどと落ち着いて考え、より良くするための行動につながっていきます。自ら決定するその姿勢は他者にも伝わり、人の輪の中で、表情や言葉、態度とともに安心感を与えることになります。

今回は、分析的な読みにくい内容になりましたが、私の経験から得た実感として、お伝えしました。

自分で選び、行動し、成功や失敗の経験を通して得る「生きる力」すなわち社会を生き抜くための魔法の杖を、一人一人が身に付けていってほしいと今後も本気で願い、子どもが自信を深めていくことができるよう良さを価値付けながら、皆様の温かな御理解・御支援のもと、引き続き職員一同、取り組んでまいります。

1月の行事予定

- 5日（月）資源回収日
12日（月）成人の日
15日（木）**3学期始業式（4時間授業・給食あり）**
図書館開館、冬休みの図書返却
交通安全指導（地域）
16日（金）**全学年4時間授業**
交通安全指導（地域）
19日（月）**全学年4時間授業 SC来校**
交通安全指導（保護者）
20日（火）**全学年4時間授業**
交通安全指導（保護者）
エスポーラー出前授業（6年生）
21日（水）**全学年4時間授業**
22日（木）**通常授業開始 スキー学習開始**
避難訓練（雪の季節）
23日（金）避難訓練予備日 漢字検定
26日（月）委員会 SC来校

★スキー学習の準備を★

3学期から、スキー学習が始まります。冬休み中に、**スキーを一度履いて、金具の調整やワックスの効き具合を確認する**など、道具の準備、整備をお願いします。スキーウエア上下、帽子、スキー手袋などもサイズが合っているかどうかご確認ください。また、例年スキー用具の取り違えも発生していますので、**目立つように記名**もお願ひいたします。

○学年末参観週間

- 3月3日（火）5校時・3年生
4日（水）5校時・2年生 6校時・4年生
5日（木）5校時・1年生 6校時・5年生
6日（金）5校時・6年生とSR

○卒業式 3月23日（月）

6年生とその保護者、4・5年生、来賓で行います。
1～3年生は休業日となります。

冬休みの生活

事故なく充実した冬休みを過ごすために、「米里っ子の冬休み」をご家庭でもご確認ください。

【冬型の事故に遭わないために】

- ・道路わきの雪山に上って遊ばない。
- ・屋根からの落雪に注意し軒下を通らない。
- ・雪山の陰から急に飛び出さない。

【事件や事故から命を守るために】

- ・知らない人の車に乗ったり、ついて行ったり、物をもらったりしない。防犯ベルを活用し、危ないときは助けを求める。
- ・友達間では、おごらない。
- ・ネットトラブルに巻き込まれることのないよう、携帯電話やインターネットの使い方は、家庭でしっかり相談し、約束を決める。
- ・16時半までに帰宅する。

※転落事故の未然防止

本校は校区近くを流れる複数の河川があります。冬期間は河川が雪山となり、雪の下を川が流れていることがあります。ここは、転落等の大きな事故に繋がるおそれがあり、大変危険です。冬期間は絶対河川に近づかないようご家庭でもお子さんにお声掛けをお願いいたします。

●「冬季休業中」の電話対応時間

もし、お子様の入院や急な転校などありましたら、小学校へご連絡ください。

米里小学校：**TEL 874-8661**

（平日8：30～16：30）

※上記時間外、土日祝日、学校閉庁日は、転送電話の設定をさせていただきます。

●「学校閉庁日」のお知らせ

本校では、1月5日（月）と6日（火）を学校閉庁日とさせていただきますので、御理解と御協力をお願ひいたします。

年末年始の閉庁日と合わせ、12月27日（土）～1月6日（火）の期間は職員が不在になります。

子どもの相談等の各関係機関について

●（北海道）子ども相談支援センター 電話相談 0120-388-256（毎日24時間対応）

メール相談 sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

●（札幌市）子どもアシストセンター 電話相談 0120-663-783（月～金曜10～20時 土曜10～16時）

メール相談 assist@city.sapporo.jp（日曜・祝日・年末年始はお休み）

その他にも、「いじめ電話相談室（少年相談室）0120-127-830」や「24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310（なやみいおう）」もあります。長期休業期間中もご家庭での温かい見守りをよろしくお願ひいたします。